

発行責任者2010年度(社)南長野青年会議所・組織運営委員会

発行. 平成22年10月



南長野J.C.伝統行事「黎明の鍵」の伝達 左・青木崇浩理事長 右・竹村成弘理事長予定者

2011年度理事予定者紹介

理事長予定者	竹村 成弘	君 氏 君
監事予定者	伊藤 昌建	君 氏 君
外部監事予定者	山崎 久男	君 氏 君
総括副理事長予定者	平藤 郁夫	君 氏 君
副理事長予定者	藤 嘉邦	君 氏 君
〃	田 一暁	君 氏 君
〃	宮尾 俊行	君 氏 君
〃	久保 和伯	君 氏 君
専務理事予定者	小山 希一	君 氏 君
委員長予定者	小林 津洋	君 氏 君
〃	三好 誠	君 氏 君
〃	松本 章	君 氏 君
〃	野口 鉄也	君 氏 君
〃	米山 直樹	君 氏 君
副委員長予定者	山岸 正道	君 氏 君
〃	中村 文陽	君 氏 君
〃	宮崎 弘章	君 氏 君
〃	下城 聖一郎	君 氏 君
〃	小坂 欣三	君 氏 君
〃	小林 敏明	君 氏 君

二〇一〇年度
第二回通常総会

第二回通常総会が八月二日にサトウ会館で開催されました。

第一号議案の二〇一〇年度補正収支予算が承認され、いよいよ二〇一〇年度も下期に突入いたします。

第二号議案は、二〇一一年度理事長予定者並びに監事予定者の発表があり、二〇一一年度の理事長予定者に竹村成弘君、監事予定者に伊藤昌弘君が紹介されました。続いて第三号議案の二〇一一年度理事並びに正副議長予定が発表され、全ての議案が無事に承認されました。

その後に来賓、北信4L OMの理事長および専務理



事をお招きして、南長野青年会議所の伝統「黎明の鍵」の伝達を二〇一〇年度理事長の青木崇浩君から二〇一一年度理事長予定者の竹村成弘君に伝達され、その後の挨拶で次年度へ向けての決意を発表されました。



会員募集コーナー！

今しか会えない仲間がいる
今しかできないことがある
新しい仲間を募集しております！

お問い合わせ先：南長野青年会議所事務局
TEL: 026-292-2310 E-mail: minaminaganojc@mtg.biglobe.ne.jp



講師 狭山青年会議所 監事 大澤 希 君

一〇月例会
「V M V セミナー」

一〇月一八日に魅力ある会員創造委員会による一〇月例会「V M V セミナー」が開催されました。現役の狭山J Cメンバーの方をトレーナー（講師）として迎え、セミナーではVisionの「J Cの目的って何だろう」ということからMission「その為に何をやるのか」を学び、最後にValues「J Cの価値観を確認したうえで関わり方」を学びました。セミナーは聴講のみならず参加型形式にて行なわれ、参加者全員と抱き合うところから始まり、その後はグループごとに課題を議論し発表しあいました。内容も大変わかりやすく「J Cとは？」との問いかけに対し、改めて学び考えることができました。

小山委員長コメント
「なんでこのセミナーをもっと早くやらなかったのか」と感じられる、素晴らしい内容でした。世界中にJ Cができた目的は「世界平和」である聞き、思い描いていた事業や活動は手段が目的になっていたかもしれないと気付かされたメンバーも多いはず。我々の定款に記してある目的も、他のJ Cとは少し違う「地域」というものに特化した内容になっていると教わり、改めて先輩方からのDNA（遺伝子）というものを感じました。このセミナーでの気付きが、次年度の創立五〇周年、認証四〇周年という節目の年にきっと生きてくるであろうと思います。



イベント告知

南長野青年会議所 JCI

冬の祭典
南長野フェスティバル
2010

イルミネーション点灯イベント 12月11日(土) 16:00~ 入場・参加無料 (雨天決行)

会場 南長野運動公園 オリンピックスタジアム正面

イルミネーション点灯期間 12月11日(土)~12月25日(土)

イルミネーション点灯時間 17:00~22:00 (予定)

南長野地域の小中高生の生徒児童の方々が作ったイルミネーション作品の展示

30000球のLEDの光が皆様をお待ちしております!!

編集後記

「かがり火」Vol3いかがだったでしょうか。今回は例会記事を分担して書いてもらいスムーズに編集できました。

しかし、ようやく慣れてきた「外報紙かがり火」ですが2010年組織運営委員会での発行もあと1回になりました。嬉しいような悲しいような複雑な気持ちですが、最後まで宜しくお願いします。

組織運営委員会 宮下 嘉文

六月例会

「経営の転機：逆境こそチャンス」

六月一日に信州健康村ホテルナイスイン村一番で一般参加者を交えての講演会「経営の転機：逆境こそチャンス」が開かれました。（主催委員会、魅力ある会員創造委員会）

花岡氏の講演で「一休さんの花岡」の商業特許を取得したまでの由來と、苦勞された仏壇販売の背景を聞き、経営者としての考え方と行動についての話を聞きました。

二代、三代目の多い青年会議所の会員にとっては、経営者としての考え方を学ぶ大変良い機会となりました。



「一休さんのはなおか」 花岡 久二氏

小山委員長コメント

六月例会にはメンバー以外の一般の方もご参加いただきました。誠にありがとうございました。今例会は本年度二回行う予定であったビジネス系セミナーの第二段として行い、趣旨として、売り上げや利益の増大といった数字的なものから経営手法を学ぶものではなく、自身の理念から生まれる経営手法を学ぶ場となりました。



7月例会 - 2010青少年育成委員会

七月例会

「チャレンジ！カヌー教室」

七月三日に2010青少年育成委員会主催の七月例会「チャレンジ！カヌー教室」が長野市信州新町「琅鶴湖（ろうかくこ）」で開催されました。

信里、信東地域の小学生（高学年）と南長野青年会議所メンバーの子供達を対象にした実体験を伴う事業ということで、多くの子供達に参加いただきました。開催前日に雨があったため、安全面を第一に考えて、「琅鶴湖」でのカヌー体験事業を中止し、急遽、近くにある長野県犀峽高校のプ



7月例会 参加者全員で撮影

ールをお借りして、カヌーの体験事業を行いました。講師の先生として武江一先生（長野県工業高校教諭）をお招きし、武江先生の指導のもと、実際にカヌーに乗り、実体験を通じてカヌーの楽しさ面白さを伝えることが出来た事業となりました。

特に、事業終了の時間になっても子供達がまだカヌーに乗りたいたいと願っている姿を見るのはとても印象的でした。

この事業を通じて、何でも実際に体験して経験する

この素晴らしい事を子供達に知ってもらえる事業になったのではないのでしょうか。

最後に、将来このカヌーを体験した子供達の中から日本を代表するカヌーの選手または指導者が出てくることを南長野青年会議所一同、楽しみにしております。

カヌー教室の後は、野外でのバーベキュー懇親会が行われ、和気藹々と楽しい時間を過ごし、子供達には楽しい夏の思い出になりました。



伝田委員長コメント
七月例会「チャレンジ！カヌー教室」を長野市信州新町で実施しました。当委員会の今年度のテーマで「子ども達に経験を通して新しい世界に触れて欲しい」という願いを形にしたのが四月、七月例会となっています。今回、取り上げたものは、信州新町では盛んに行われている「カヌー」です。小学生には少し早いかも知れませんでした。が、タイトルに込められた「チャレンジ」です。始めはおっかなびっくりな子ども達も、すぐに自由自在にカヌーを操れるようになりました。

当日は、梅雨明け切らぬ微妙な時期で天気だけが心配でしたが、あいにく前日より降っていた雨が河川に影響し、予定地だった「琅鶴湖」での実施は急遽

とりやめ、講師に招いた武江一先生（長野県工業高校教諭）にご配慮をいただき、実施場所を長野県犀峽高校のプールに移しました。想定外の場所でしたが、委員メンバーにとってもある種のチャレンジ？になっただけでした。しかし、意外にプールでのカヌーも楽しめたようです。

カヌーを体験する前は、何も語れなかった子ども達は、事業を終え帰宅途中の車の中でとても興奮して、ご両親に体験した事を語ってくれたようです。水の冷たさや、カヌーを動かす事のおもしろさ、ちょっとした感動など様々なことが「語る事ができる体験」となってくれたようです。

八月例会

「公益法人制度改革を学ぶ」

八月二日に組織運営委員会（三侯委員長）主催の八月例会「公益法人制度改革を学ぶ」が総会後、同会場で開催されました。平成二〇年二月一日に施行された「新公益法人制度改革」も残り三年になりました。今、存続している社団法人は「特例

民法法人」として存続しています。二五年二月一日までに「公益法人」または、「一般社団法人」のどれかを認定完了しなければ解散になります。メンバー全員に制度を理解してもらいこれからの方針を考えてもらう為の例会でした。



三侯委員長コメント

堅い内容の例会でしたが、今後のLOMの方向を左右する公益法人制度改革と現在の当LOMの立場は必ず知っておかねばならないことですし、メンバー一人一人がこの制度について考えてもらうために今例会を行いました。ちゃんとメンバーに伝わり理解してもらえたと感じています。限られた移行期間中に方向性を決めて進めていくためにも、次のステップに繋げる事が出来たと思います。



2010年度
組織運営委員会
委員長
三侯 史博

9月例会 - 人とのふれあい委員会

九月例会

「第二回秋のふれあい音楽祭」

九月一二日に九月例会「第二回秋のふれあい音楽祭」を開催致しました。当日は晴天にも恵まれ、家族連れをはじめ、お子様からご年配の方までたくさんの方で賑わいました。心や身体に障がいをお持ちの方々によるステージ発表を中心に、物販販売も行いました。また、特別ゲストにバイオリニスト・牧美花さんにもご出演頂きました。牧さんは左手のハンディがありましたが、人と反対にバイオリンを持つことによって克服しバイオリニストとして活躍されております。

出演団体の真剣で楽しさ溢れる演奏と、牧さんの人柄が出ている、優しい音色、ハーモニは、聴衆を感動、魅了致しました。

最後には全員で「世界で一つの花」の合唱で締めくくられ、楽しく、感動のある例会が幕を閉じました。



バイオリニスト 牧 美花氏

山本委員長コメント
当委員会として今年二回目の例会を九月に担当させて頂き、「第二回秋のふれあい音楽祭」というタイトルで心や身体に障がいをお持ちの方々を対象とした音楽祭を開催させて頂きました。長野市若里市民文化ホールで、八団体の皆様にこ出演頂き、九団体の皆様にブラス出展をして頂きました。会場は沢山の方で賑わい、音楽やブラス出展を通して、障がい者に対する



長野盲学校同窓会
(OSAMUバンド)

長野市栗田園
(チームぐり坊)

長野音楽療法研究会

長野市ひかり学園
(ループ)

森と木
(ビートワズ☆ビートキッズ)

絆の会
(絆の会合唱団)

竹馬
(たけうまふれあい太鼓)

エコーシアファミリー
(花・花)